

北部方面隊創隊

周年記念行事



第783号

令和4年11月18日

要望事項

「真に戦える実効性ある部隊の創造」
「地域等との連携」
「人間力の強化」

発行：北部方面隊総監部広報室

「煌めく大地 夢の大地 北の大地」 地域とともに70周年

北部方面隊は、10月15日、16日の両日、北部方面隊創隊70周年記念行事を真駒内駐屯地等で実施した。

節目となる今年の記念行事においては、15日に、北海道殉職隊員追悼式を実施し、324柱の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、札幌文化芸術劇場hitaruにおいて、70周年記念演奏会を3年ぶりに開催した。

また、16日には、北部方面隊及び自衛隊に著しい功績のあった個人、団体に対する総監感謝状贈呈式を実施するとともに、招待者及び公募による参加者が見守る中、創隊70周年記念式典、観閲行進、訓練展示等を実施した。

記念式典において方面総監 沖邑陸将は、「国防の重要な役割を担う誇りを胸に、皆様の負託に応えるために一人ひとりが内面から光り輝く人間力を高め、地域等との緊密な連携を図り、任務を完遂する。」と述べ、部内外の方々に今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いし、創隊70周年を祝った。



執行者（北部方面総監） 巡閲

観閲行進・訓練展示

10月16日、快晴の真駒内駐屯地において、記念式典に引き続き、観閲行進及び訓練展示が40年ぶりに実施された。

観閲行進では、人員約340名、21コ部隊が保有する戦車・火砲等を含む約110両の車両を進軍を実施するとともに、陸海空自衛隊が保有する航空機12機による観閲飛行を実施した。

また、訓練展示では、対空戦闘により撃破するとともに、残存した敵を諸職種協同の地上戦闘により撃破するシナリオで実施した。

観客からは、「圧巻の観閲行進・訓練展示であり迫力があった。」との感想をいただいた。



観閲行進



訓練展示

装備品展示・体験搭乗

装備品展示会場では、領域横断作戦等の様相をイメージした戦車・火砲・装甲車等の装備を展示するとともに、災害派遣等で使用する入浴セット、野外炊具1号、野外手術システム等を展開して自衛隊に対する理解と信頼を深めた。

また、体験搭乗では、方面隊が誇る74式・90式・10式の3世代の戦車が走行、軽装甲機動車や高機動車への搭乗も併せ、多くの参加者で賑わった。



野外手術システムの展示



10式戦車体験搭乗

北部方面隊の活動はホームページ及び各種 SNS をご覧ください。

YouTube

Instagram

Facebook

Twitter

HP



北海道殉職者隊員追悼式

方面隊は、10月15日、真駒内駐屯地において、北海道方面隊を主催者、海上自衛隊大湊地方総監、航空自衛隊北部航空方面隊司令官及び北海道防衛局長を共催者として、北海道殉職隊員追悼式を厳粛かつしめやかに執り行った。

式典には、ご遺族45名のほか、北海道知事代理等ご来賓のご臨席を賜り、324柱の職に殉じられた御霊に慎んで哀悼の誠が捧げられた。国家吹奏、殉職

隊員名簿奉読、儀じように続き、追悼の辞、参列者による献花を捧げ、弔銃の後、ご遺族代表が挨拶を述べられた。

総監は追悼の辞において、「隊員が安全に任務遂行できる環境を整え、仲間を失うという何よりもつらい出来事が起こらぬように最大限努めるとともに、御霊の尊い志と幾多の教訓を生かし、如何なる任務においても必ず達成する。」と述べ、隊員一同はその誓いを新たにされた。



儀じよう

70周年記念演奏会



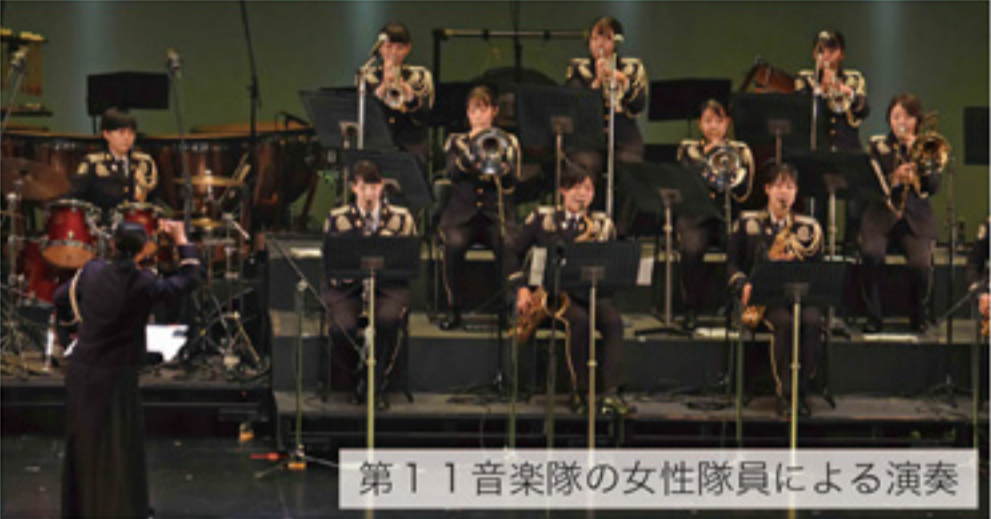
フィナーレ

方面隊は、10月15日、札幌文化芸術劇場hitaruにおいて、70周年記念演奏会を実施した。今年、「煌めく未来へ」北の大地のハーモニーをテーマに、方面隊の創設から現在、その歩みと向かう70年の歩みを、音楽、映像、演出により表現した。

オープニングは、第7音楽隊(隊長 平林1尉)が「鎌倉殿の13人」などを演奏した。次いで、第2音楽隊(隊長 藤田2尉)が民謡歌手 井上強嗣氏と共演するとともに、「北の国から」など北海道の名曲集を演奏した。

続いて、幌別の北海道自衛太鼓と旭川北鎮太鼓が力強い和太鼓ステージを実施した。

中盤には、第5音楽隊(隊長 吉田2尉)と札幌大学ダンス部SPADEが共演し、活気溢れる音楽とダンスを披露するとともに、第11音楽隊(隊長 持丸1尉)は、



第11音楽隊の女性隊員による演奏

総監感謝状贈呈式

10月16日、永きにわたる、北部方面隊の隊務運営へのご支援・ご協力をいただきとともに、著しい功績があった個人、団体等に対して、感謝状と記念品を贈呈しました。受賞された方々は、次のとおりです。

- 【一般功労】**
- 根本 和雄 伊藤 榮三
 - 川口 勤 池田 拓
 - 栗林 和徳 本宮 輝久
 - 新沼 靖典 西岡 巖
 - 大塚 弘明 中崎 義昭
 - 明門 直志 篠原 茂晴
 - 藤澤 正 守屋 聡
 - 村本 隆二 村上 壮一
 - 天塩町自衛隊協力会
- 【就職援護功労】**
- 岩田醸造株式会社
 - 株式会社山三ふじや
 - 株式会社マツコ
 - 千歳支店
 - 日本通運株式会社 札幌支店
 - 株式会社壺屋総本店
 - 名信ビジネスサービス株式会社
 - 有限会社川原観光
 - 函館トヨベット株式会社
 - 社会福祉法人清水旭山学園
 - 帯広三菱自動車販売株式会社
- 【自衛官募集功労】**
- 共和町
 - 七飯町
 - 八雲町
 - 学校法人札幌北斗学園
 - 札幌北斗高等学校
 - 学校法人西岡学園
 - 札幌山の手高等学校
 - 北海道札幌琴似工業高等学校
 - 北海道旭川宝田学園
 - 旭川明成高等学校
 - 北海道旭川高等学校
 - 北海道留辺蘂高等学校
 - 北海道清水高等学校
- 【予備自衛官等雇用功労】**
- ISA株式会社
 - 株式会社エクステリアウオール
 - 遠軽通運株式会社
 - 太平洋興産株式会社
 - 株式会社アスピック
 - 函館支店
 - 株式会社マルセンシステムズ

優秀隊員総監招待行事

10月14日、札幌市内ホテルにおいて、優秀隊員総監招待行事を実施した。

隊務遂行に特に功績のあった隊員とそのご家族を招待して、表彰式

- 優秀隊員褒賞状受賞者**
- 第2師団第2後方支援連隊 陸曹長 濱津 良太郎
 - 第7師団司令部 1等陸尉 鶴喰 守
 - 第7師団第73戦車連隊 准陸尉 池田 雅人
 - 第5旅団司令部 准陸尉 吉村 早男
 - 第11旅団第18普通科連隊 2等陸尉 細川 貴子
 - 第11旅団第18普通科連隊 旅団長 田中 大典
 - 第1特科団本部 准陸尉 宮古 慶法
 - 第1高射特科団本部付隊 陸曹長 大泉 正浩
 - 第3施設団第13施設群 1等陸尉 重本 豊
 - 北部方面混成団本部 准陸尉 伊藤 雅之
- 自衛官募集功労者**
- 北海道補給処 防衛技官 佐々木 和之
 - 北海道補給処 准陸尉 井上 喜雄
 - 自衛隊札幌地方協力本部 予備1尉 井上 智輝
 - 自衛隊旭川地方協力本部 1等陸曹 高津戸 努

歴代総監会同

10月15日、札幌市内ホテルにおいて、歴代総監会同を実施した。

会同では、総監在任間



歴代総監との意見交換

のご尽力に感謝の意を表するとともに、「北部方面隊のあり方」及び「現行陸自(方面隊)の方向性」についてご助言いただき、隊務運営の資を得た。

歴代総監からは、創隊70周年をお祝いいただきとともに、厳しい国際情勢の中、更なる北部方面隊の活躍に対する期待の言葉をいただいた。

方面隊は、引き続き、「真に戦える実効性ある方面隊」として、道民の安全・安心のため即応態勢を堅持して、練成訓練に励んでいく。

記念会食

10月16日、観閲行進・訓練展示終了後、真駒内駐屯地食堂において、記念会食を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、記念会食会場を2カ所に分け、三密を防止しつつ、国会議員をはじめ、各自自治体の長、道議会議員、方面隊並びに各師団・旅団等の部隊の協力団体、各企業の方々の参加をいただき、会食を実施した。

皆様からいただいた、激励・ご期待にこたえるため、更なる方面隊の発展を誓い、記念会食を最後として、創隊70周年記念行事は幕を閉じた。



総監挨拶

行事を支えた隊員

創隊70周年記念行事では、多くの隊員が準備から本番まで、勤務員、警備要員等として参加しました。隊員達の活躍に感謝し、一部ではあります紹介させていただきます。



式典準備



警備任務

RD(レゾリュート・ドラゴン)22 国内における米海兵隊との実動訓練

米海兵隊との共同対処能力を向上

方面隊は、10月1日から14日の間、道内各演習場において、令和4年度国内における米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン22)を実施した。

本訓練は、自衛隊及び米海兵隊の部隊が、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により訓練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図ることを目的として実施された。

本訓練においては、第2師団(師団長 富樫陸将)、第1特科団(団長 牧野陸将補)、第3施設団(団長 河口陸将補)等が島しょ部での作戦について演習するとともに、米海兵隊との共同連携として高機動ロケット砲システム(HIMARS)の射撃及びM22オスプレイを運用した緊急患者空輸等の訓練を実施した。



16式機動戦闘車の射撃



米海兵隊との調整



高機動ロケット砲システム(HIMARS)の射撃準備



陸自の掩護の下、離脱する米海兵隊



オスプレイによる患者後送

北海道訓練センター 実動対抗演習 第4回運営への参加

実動対抗演習により 諸職種協同に必要な練度を向上

第2師団は、9月4日から9月17日までの間、矢白別演習場において、陸上自衛隊教育訓練研究本部が担任する、令和4年度北海道訓練センター実動対抗演習第4回運営に参加した。

本運営には、第2師団隷下の第3即応機動連隊(名寄)を基幹に、特科、機甲科、施設科部隊等が配属された増強第3即応機動連隊が参加し、中部方面隊第13旅団隷下の第46普通科連隊(広島県海田市)基幹との実動対抗演習に臨んだ。

防御する第46普通科連隊基幹に対し、増強第3即応機動連隊が攻撃する想定で実施された本運営は、より実相に近い作戦環境下において、諸職種協同による総合戦闘力の発揮を主眼に演習し、任務を完遂した。



敵を警戒しつつ主戦場地域へ前進

第7師団 訓練検閲

師団の攻撃における 部隊行動の練度を評価・判定

第7師団(師団長 中村陸将)は、9月17日から22日までの間、令和4年度第2次師団訓練検閲を実施した。

本検閲は、第73戦車連隊及び第7飛行隊に対し、部隊の練度を評価・判定するとともに、その進歩向上を促すことを目的に実施された。

各部隊は、師団の攻勢作戦における「指揮官の状況判断及び企図の徹底」、「部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作」、「小火器射撃」の3点を主要検閲項目として、総合戦闘力を最大限に発

揮し、師団の任務達成に寄与すべく演習した。



戦車による機動打撃



偵察部隊のオートバイ空輸



ヘリボン攻撃



偵察活動

第5旅団 訓練検閲

作戦準備から攻撃戦闘に至る 一連の状況下で練度を評価・判定

第5旅団(旅団長 鳥海陸将補)は、10月20日から25日までの間、帯広駐屯地、然別演習場及び矢白別演習場において、令和4年度第3次旅団訓練検閲を実施した。

本検閲は、第4普通科連隊、第5後方支援隊及び第5通信隊に対し、部隊の練度を評価・判定するとともに、その進歩向上を促すことを目的に実施された。

各部隊は、「指揮幕僚活動」、「部隊の戦闘行動」、「隊員の基礎動作」の3点を主要検閲項目として、旅団の作戦準備から攻撃戦闘までの一連の行動について演習した。



対戦車火器で敵を伏撃



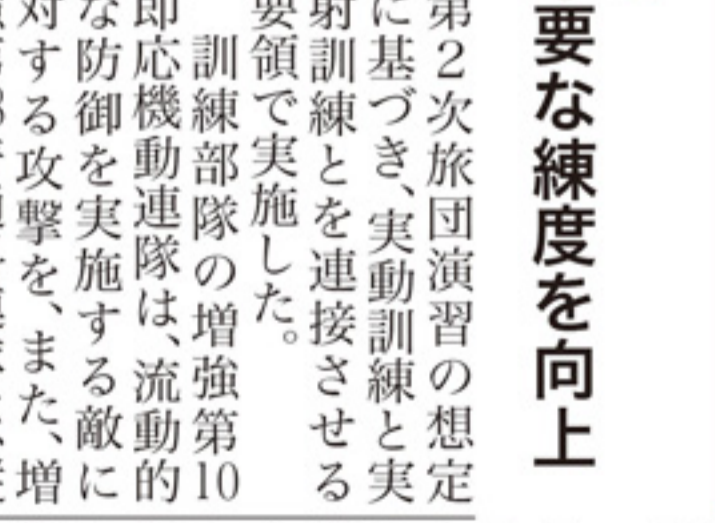
普通科・機甲科による攻撃



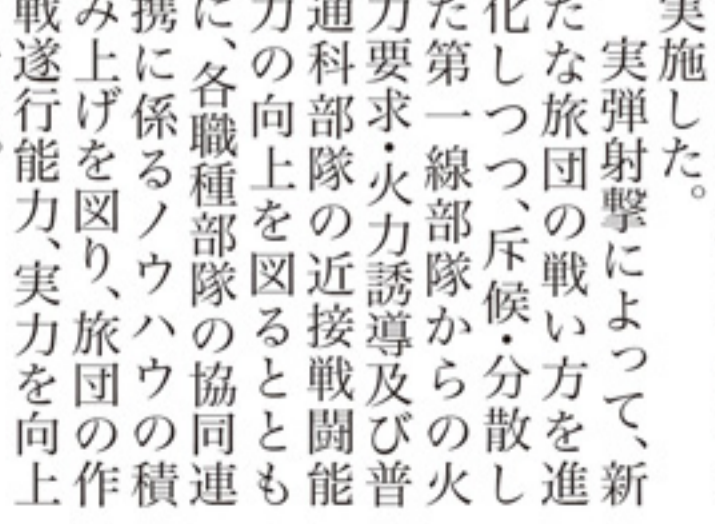
16式機動戦闘車による射撃



狙撃隊員による射撃



対空戦闘



大量患者対応

第11旅団 総合戦闘射撃訓練

諸職種協同による 火力発揮に必要な練度を向上

第11旅団(旅団長 青木陸将補)は、10月27日及び28日、上富良野演習場において令和4年度第2次旅団総合戦闘射撃訓練を実施した。

本訓練は、諸職種部隊の総合された火力発揮能力の向上を目的とし、

第2次旅団演習の想定に基づき、実動訓練と実射訓練とを接続させる要領で実施した。

訓練部隊の増強第10即応機動連隊は、流動的な防御を実施する敵に対する攻撃を、また、増強第18普通科連隊は、縦深を活用した流動的な防御の場面をもって実弾射撃訓練をそれぞれ実施した。

実弾射撃によって、新たな旅団の戦い方を進化しつつ、斥候・分散した第一線部隊からの火力要求・火力誘導及び普通科部隊の近接戦闘能力の向上を図るとともに、各職種部隊の協同連携に係るノウハウの積み上げを図り、旅団の作戦遂行能力、実力を向上させた。



対空戦闘



大量患者対応

北部地域自衛隊指揮官会議

北海道及び東北の守りの為 陸・海・空の指揮官等が集結



意見交換



米F-16戦闘機の研修



記念撮影

総監は、9月14日、15日の両日、航空自衛隊三沢基地等において、令和4年度前期北部地域自衛隊指揮官会議に参加した。会議には、主催者である航空自衛隊北部航空方面隊司令官(安藤空将)のほか、北部方面総監、東北方面総監(梶原陸将)、海上自衛隊大湊地方総監(泉海将)、北海道防衛局長(石倉技官)及び東北防衛局長(市川事務官)が参加し、北部地域における連携・調整等について積極的な意見交換等が行われ、北海道・東北に所在する陸海空各自衛隊指揮官の意思疎通を図った。

隊員募集に関するお願い

自衛隊の魅力を発信し 共に働く仲間を募集中

北部方面隊では、札幌・旭川・帯広・函館の4つの地方協力本部が中衛官として共に働く仲間を募集しております。

各地方協力本部は、自衛隊に対する理解を促進し、人材の確保に寄与するため、自衛隊の職業上の魅力を発信するとともに、体験・見学型のイベントを実施しております。

自衛官の魅力は、「国家を守る、公務員」であり、約25万人の行政組織として、安定・安心・充実した勤務環境にあります。

是非、あかしや読者の皆様には、高校生、大学生、社会人等の方々に自衛隊の魅力を伝えていただき、就職活動に関心がある方の情報を各地方協力本部や最寄りの部隊にご提供いただき、ますますよろしくお願ひします。



市街広報(札幌地本)



旭川龍谷高校での公務員合同説明会(旭川地本)



イベント会場での装備品展示(帯広地本)



お仕事フェスタ(函館地本)

募集種目	受付期間(締切)	試験期日
一般曹候補生	10月19日(水) 12月1日(木)	1次:12月11日(日)~16日(金) 2次:令和5年1月7日(土)~15日(日)
自衛官候補生	札幌 12月9日(金)	12月17日(土)・18日(日)
	函館 12月17日(土)	12月18日(日)・19日(月)
	旭川 11月28日(月)	12月4日(日)・5日(月)
	帯広 11月30日(水)	12月3日(土)・4日(日)
陸上自衛隊 高等工科学学校生徒	推薦 12月2日(金)	令和5年1月5日(木)~7日(土)
	一般 令和5年1月6日(金)	1次:令和5年1月14日(土)・15日(日) 2次:令和5年1月26日(木)~29日(日)

- ◇ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更する可能性があります。
- ◇ 試験日程、各種イベント、説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



帯広地方協力本部
0155(23)5882



函館地方協力本部
0138(53)6241

あかしや第784号掲載予定記事

- ・演習場秋季定期整備
- ・第7師団戦車射撃競技会
- ・各部隊訓練記事
- ・国民保護訓練
- ・募集記事等

一般曹候補生
令和4年度第3回試験(12月11日から16日)が実施されます。インターネットからも応募できますので、新たな一步を踏み出そうとしている高校生、大学生及び転職を考えている方に周知ください。

自衛官候補生
試験は年間を通じて実施されております。非任期制の自衛官として勤務し、任期満了後は任期の継続、再就職、進学など柔軟な進路を選択できます。また、選抜試験に合格すれば「曹」や「幹部」の道も開かれます。

高等工科学学校生徒
令和4年度の試験が令和5年1月から実施されます。卒業生のほとんどが陸上自衛隊の中核として活躍します。また、様々な分野で自分を高めていける道が用意されています。

You can 道 it

第219回 **~心の健康相談室~**
人生に潤いを与える言葉

せいそう そ
性燥に心粗なる者は、一事も成ることはなし。
心おのず和し気平らかなる者は、百福自から集まる。

(「菜根譚」前集・206)

これは、「性質がせっかちで心の粗雑な人は、たとえ一つの物事でも成し遂げることが難しいが、心がなごやかで気持ちが平静な人には、多くの幸せが自然に集まってくる」という意味です。

つまり、いかに「平静な心」<アクエミニタス>が大切であるかということではないでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー **根本 和雄**